

実験動物の技術と応用 入門編 増刷（第五刷）にあたっての修正点

修正箇所	修正前	修正後
p.4 右欄 2行目	厚生省	厚生労働省
p.8 下から3行目～最下行	ネコやサル類の供給体制は未だ十分とはいえないため、研究者の中には安価な転用動物の使用を望む声も根強い。	ネコやサル類の供給体制は未だ十分とはいえないため、研究者の中には転用動物の使用を望む声もある。
p.10 下から3行目	動物の処分方法に関する指針	動物の殺処分方法に関する指針
p.11 1行目	エンドポイント	人道的エンドポイント
p.30 下から11行目	近交系数	近交係数
p.36 右欄「哺乳動物の繁殖周期の型」 ③ウサギ型 下から3行目	黄体は機能化して黄体形成ホルモンを生産する。	黄体は機能化して黄体ホルモンを生産する。
p.36 右欄「哺乳動物の繁殖周期の型」 ⑤イヌ型 3行目	黄体は機能化して黄体形成ホルモンを生産する。	黄体は機能化して黄体ホルモンを生産する。
p.42 右欄「粉末飼料・液体飼料の給餌法」 下から2行目	所定量の水が	所定量の水か
p.60 7行目	ヒト、動物は原則としてA→C→Bの方向に流れ	ヒト、動物は原則としてA→B→Cの方向に流れ
p.60 表7-1「騒音」	60db	60dB
p.70 6行目	サル類では口腔、舌、口唇に小疱や腫瘍	サル類では口腔、舌、口唇に水泡や潰瘍
p.70 下から5行目	動物が個別に飼育されている場合は糞便の排泄がないことからその発見は容易であるが	動物が個別に飼育されている場合はその個体の糞便の排泄状況や便性状の観察が容易であるが
p.79 右欄「測定手順」 ④	0点	ゼロ点
p.84 右欄「マウスの採血時に準備する試薬など」 2行目	ミドリ十字	田辺三菱製薬
p.87 図9-7	14、15、16の表示について修正	右図参照 
p.104 右欄「経口投与」 2行目	前駆部	前駆部
p.114 右欄 「シリアンハムスター」 妊娠期間	15～17日	15～16日
p.114 右欄「シリアンハムスター」	備考を追記	備考：妊娠期間は、夕方雌雄同居、翌朝に陰栓を確認し、確認した日を0日として起算
p.116 下から2行目	ハムスター類の性成熟、体重等	ハムスター類の性成熟、妊娠期間
p.117 右欄 表4-1 シリアンハムスター妊娠期間	15～18日	15～16日
p.126 右欄 図5-6	不整咬合	不正咬合
p.133 下から15行目	利用	使用
p.135 下から10行目	通常の2倍量（最高）まで徐々に増やすことが望ましい。	通常の1.5倍程度まで徐々に増やすことが望ましい。
p.140 10行目	ドライ（固形）とモイスト（缶詰）	ドライタイプ（固型）とモイストタイプ（缶詰）
p.140 20行目	1日量が入る給餌器を用いるとよい	2～3日分が入る給餌器を用いるとよい
p.140 下から7～6行目	輸送は、「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」に従うことが基本である。細かくは、平成6年5月の（社）日本実験動物協会の「実験動物の輸送に関する指針」を参照するとよい。	輸送は、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」に従うことが基本である。細かくは、平成18年12月の（社）日本実験動物協会作成の「実験動物の輸送に関する指針」を参照するとよい。
p.143 9行目	妊娠期間は58～69日程度の幅がある。	妊娠期間は58～69日程度で、幅がある。
p.144 19行目	尿道カテーテル	ネラトンカテーテル
p.150 表8-3「豚繁殖・呼吸障害症候群」	複式呼吸	腹式呼吸
p.154 下から10～8行目	左肺は、前葉（尖葉）、中葉（心葉）、後葉（横隔膜葉）の3部分に、また、右葉は、この他中間葉があり、計4部分に分かれている。	右肺は、前葉（上葉）、中葉、後葉（下葉）、副葉の4葉、左肺は前葉（上葉）、後葉（下葉）に分かれている。ただし、左肺前葉（上葉）は小さくびれが入っているため、外観的には2つに分かれ見える。
p.157 下から2行目	アスコルビン酸3mg/kg	アスコルビン酸粉末
p.171 14行目	広く用いられ近交系も	広く用いられ、近交系も
p.185 中段 下から18個目	動物の処分方法に関する指針	動物の殺処分方法に関する指針